

株式会社両毛データセンター

信頼性の高いシンクライアントソリューションを支える

アイシロンのスケールアウトNAS

— データセンターだからこそ可能な高品質の仮想デスクトップサービスをIsilon IQが実現



株式会社両毛データセンター ホームページ

アプリケーション

フレキシブルで可用性の高いシンクライアントサービスを提供するためのスケールアウトNASソリューション

課題

株式会社両毛データセンターは中核事業であるiDC（インターネット・データセンター）による各種サービスに加えて、シンクライアントソリューションを提供しています。顧客企業の要求に柔軟に対応でき、かつ充実したサービスを実現するためには、運用コストを抑えながらもメンテナンスや増設にフレキシブルな対応ができるストレージが必要でした。

Isilon IQ のメリット

株式会社両毛データセンターは、以下の理由によりIsilon IQ スケールアウトNASを選択しました。

- システムを稼働したままで増設・メンテナンスが可能
- 不具合がほとんど発生しない高い信頼性と可用性
- 高い安定性によるストレージ管理コストの削減
- 経営資源を顧客向けサービスに集中し、顧客満足度を向上

データセンター/システムインテグレーター/サポートの連携が実現したビジネスで安心して利用できるシンクライアントソリューション

システムインテグレーターの株式会社両毛システムズの関連会社である株式会社両毛データセンター（以下、両毛データセンター）は、同じく関係会社でサービスデスク事業を行う株式会社両毛ビジネスサポートと密接に連携することで質の高いインターネットデータセンター（iDC）事業を展開しています。同社は互いの設備や社屋が地理的に隣接しているため、不具合の発生などに迅速に対応することが可能で、その技術力・サポート力には定評があります。

これまで、両毛データセンターはハウジング、ホスティング、オペレーション、データ保管から、プリンティングやエントリーなどまでを含む事業を展開してきましたが、2008年から新たな事業として、シンクライアントソリューションの提供を開始しています。

現在、ネットワークを通じて業務アプリケーションを利用するSaaSへの関心が高まっています。しかし、一方でSaaSに対するセキュリティや内部統制などの懸念を指摘する意見もあります。

両毛データセンターが提供しているサービスは、データの保管からシステムの運用・管理までを一括してアウトソーシングできるシンクライアントソリューションです。データセンター、システムインテグレーター、サポートが一体となってサービスを提供することによって、セキュリティ強化、内部統制対応、事業継続性の確保などの課題を解決しています。データセンター自身が、シンクライアントソリューションを提供することによって、ハードウェアの保守管理とシステムの運用管理が一体化した顧客満足度の高い仮想デスクトップサービスを実現することが可能になったのです。

両毛データセンターのシンクライアントソリューションは、最小ユーザが3名の小規模利用から1000ユーザ以上の大規模利用までを柔軟にカバーできるフレキシブルなサービスです。これを実現するためには、関係会社との密接な連携に加えて、信頼性の高いストレージが必要不可欠になります。そして、両毛データセンターが求める厳しい条件を満たしたのが、アイシロン・システムズのIsilon IQスケールアウトNASでした。



株式会社両毛データセンター
データセンター事業部
iDC課
横田 靖弘 氏



Isilon IQ スケールアウト NASは
VMware Ready Certified製品です。

『 理想のサービスを提供することは、Isilon IQ スケールアウトNASでなければ実現できなかった 』

端末側にデータを保存しないシンクライアントソリューションでは、企業の業務データがデータセンターに集積されることとなります。そのため、シンクライアントソリューションのストレージ・システムには、これまで以上に高い性能が求められることとなります。ミッションクリティカルなシステムを停止させることのない高い安定性と、顧客企業のさまざまな事情や増大するデータに合わせたストレージの増設に対応できる柔軟性は必須の要件です。さらに、運用コストの削減には仮想化への対応も不可欠です。

株式会社両毛データセンター データセンター事業部 IDC課の横田 靖弘氏は「Pay as You Grow (顧客の成長に合わせた拡張)」という、アイシロン・システムズのストレージに対する基本的な考え方は、最小3ユーザから月額で利用することができる両毛データセンターのシンクライアントソリューションの実現には、まさにうってつけでした」と、Isilon IQスケールアウトNASの選択理由のひとつを説明します。

従来までのストレージ・システムでは、ストレージの増設はたいへん手間と時間がかかる作業でした。しかし、Isilon IQスケールアウトNASであればシステムを停止することなく、自由なストレージの増設が可能になります。

横田氏は、「通常、ストレージの増設作業を行う際には、分厚いマニュアルが必要になります。しかし、Isilon IQスケールアウトNASの増設マニュアルはたった2枚のA4サイズのドキュメントにまとめられていました。この設定の簡単さには、本当に驚きました。また、複数のボリュームを管理・運用するためにはアプリケーション側の対応も必要になるので、数PBレベルもの単一のファイルシステムを利用できる点も大きな魅力でした」とIsilon IQスケールアウトNASを選択した経緯を振り返ります。さらに、大容量でも高いスループットが維持でき、VMwareの認定を取得していることも、採用を決定する上で大きな安心材料となりました。

現在、両毛データセンターでは、Isilon IQ 1920を搭載したシンクライアントソリューションを提供しています。仮想化プラットフォームにVMware vSphereを採用した統合仮想デスクトップ環境では、100台近くの仮想マシンが運用されています。

「Isilon IQスケールアウトNASを導入した2008年7月から、現在(2009年12月)まで、大きなトラブルはまったく発生していません。ハードウェア、各種設定、運用後のランニングコストまでを含めたストレージに関するトータルコストを大きく削減できました」(横田氏)

また、両毛データセンターではシンクライアントソリューションの他にも仮想ホスティングサービスや、ファイルサーバサービス、データベースなど、多彩なサービスの提供にIsilon IQスケールアウトNASを活用しています。

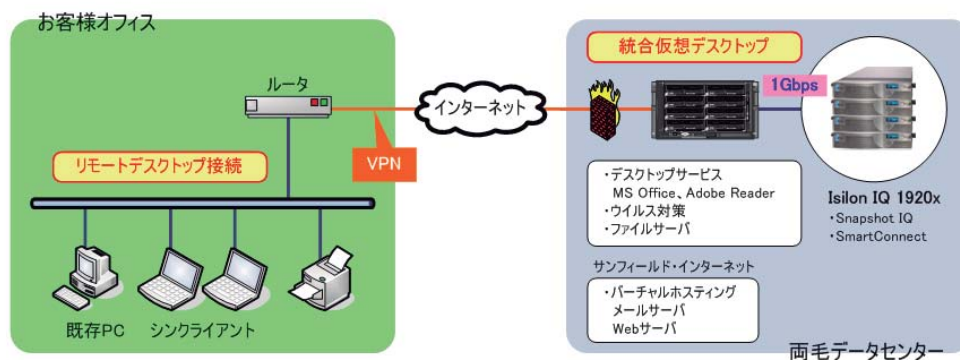
『 サービス品質の充実と いっそうの信頼性向上を目指す 』

端末にデータを保存しないシンクライアントソリューションを、情報セキュリティの強化に利用したいというニーズもあります。これに応えるために、両毛データセンターでは2009年に「プライバシーマーク」と「ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定」を取得するなど、「セキュリティ品質」の向上に力を入れています。

また、横田氏は「Isilon IQスケールアウトNASの運用管理に必要な人的リソースは、従来までのストレージと比較して、ごくわずかしか必要ありません。そのため、サーバの可用性を向上させるなど、顧客企業へのサービスを充実させるために社内リソースを集中することができるようになりました」と、もうひとつのIsilon IQスケールアウトNASの導入メリットを語ります。

さらに、いっそうのサービス品質の向上を今後も取り組むべき課題として挙げています。「Isilon IQスケールアウトNASの信頼性にはたいへん満足しています。しかし、顧客企業のデータをより確実に保護して、これまで以上の安全性と信頼性を提供していくために、効率的なバックアップ・ソリューションの導入などが重要です」。バックアップ・ソリューションの提供も行っているアイシロン・システムズは、この点についても両毛データセンターを強力にサポートしていきます。

アイシロン・システムズと、複雑化・巨大化するストレージ・システムが抱える課題と、コストとパフォーマンスの要求を同時に解決できるIsilon IQスケールアウトNASを通じて、シンクライアントソリューションを今後のビジネスの重点分野として位置付けている両毛データセンターを、これからも支え続けていきます。



開発元



アイシロン・システムズ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-22-1 代々木1丁目ビル 12階
Tel : 03-5358-7188 (代表) Fax : 03-5333-4443

ブレイクスルーはここから

Email : contact-jp@isilon.com www.isilon.co.jp